

- 定量的評価によって見直しの方向性を導き出したが、津波災害時に避難路となる可能性の高い道路が廃止（要検討）になっている場合など、特別な理由がある区間について、「定性的評価」を行い。見直しの方向性を総合的に判断する。

## 定性的評価で 考慮する項目

- ・計画道路が津波浸水区域内にあり、災害時に避難路として活用される可能性が高い区間
- ・当該区間と一体的に整備されることで、完成済区間や事業中区間が事業効果を発揮する区間
- ・区画整理構想区域内にあり、区画整理が開始された場合に一体的に道路整備を行う区間



## 総合評価

- ・定量的評価で見直しの対象となった「存続（要検討）」「廃止（要検討）」区間について、定性的評価により「見直しの方向性」を修正し「総合評価」とする